

令和7年度 中学校英検IBA結果概要（中2）

テストの名称	英検IBA(Institution Based Assessment) 2 技能版／公益財団法人日本英語検定協会						
テストの特徴	生徒の英語 2 技能を測定し、英検級・スコア、CEFR（セファール：ヨーロッパ言語共通参照枠）の目安がわかる。 英検の過去の問題を組み合わせて出題される。 英検の合格証明書は発行されない。						
測定範囲	3 級～ 5 級			級の目安	3 級：中学卒業程度、4 級：中学中級程度、5 級：中学初級程度		
受検校数	116校	受検学年	中 2	受検者数	7,788名	受検日	1 1 月の学校が希望する日

県平均スコアと 5 級判定基準スコアとの比較

	大分県平均スコア	4 級判定基準スコア
読む	309.0	330.0
聞く	269.0	292.0
総合	577.6	622.0

スコアに基づく級判定と受検者の割合

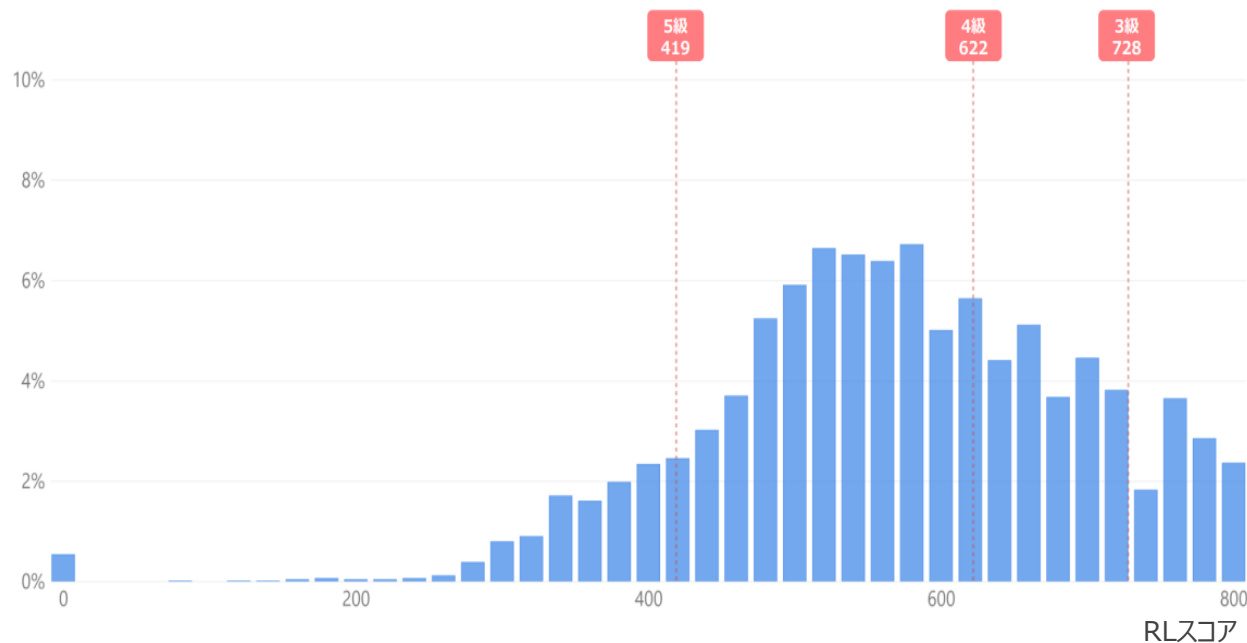
級	3 級	4 級	5 級	5 級未満
受検者の割合	12.4%	25.0%	52.1%	10.5%

英検 4 級以上相当と判定された生徒の割合は、37.4%

分野別正答率

読む	語句の空所補充	77.0%
	会話文の空所補充	77.1%
	長文読解	54.3%
聞く	会話の応答文の選択	79.6%
	パッセージの内容選択	61.3%

受検者の割合



- 英検 4 級以上相当と判定される生徒の割合が37.4%であり、昨年度より5%以上増加したものの、依然として求められる英語力に課題がある。
- 昨年度と比較して、低学力層の生徒が減り、中・上位層の生徒が増えている。
- 「読むこと」における「長文読解」について重点的に指導していく必要がある。